

(仮) 福山市官民連携で取り組む介護予防プロジェクト事業に係るサウンディング型市場調査の実施結果について

福山市では、高齢化の急速な進行や介護給付費の増加などのこれまでにない社会状況の変化に直面するなかで、介護予防事業にもこれまでにない新たな取り組みが必要となっています。そこで、官民連携の仕組みの一つである PFS（成果連動型民間委託契約方式）の手法を活用して、市民に対して多様かつ魅力的な介護予防メニューを提供することで、これまで参加してこなかった前期高齢者や無関心層にもアプローチすることを目指しています。

本サウンディング調査は、民間事業者との「対話」を通じて、民間事業者の参入意向や参入しやすい業務条件及び公募条件等を把握することを目的に実施しました。

調査結果を次のとおり公表します。

○スケジュール

実施要領の公表	2023年（令和5年）12月13日（水）
サウンディング調査の参加受付	2023年（令和5年）12月13日（水）から 2023年（令和5年）12月25日（月）
サウンディング調査の実施	2024年（令和6年）1月9日（火）から 2024年（令和6年）1月16日（火）

○参加事業者数

5事業者

○対話内容

事業内容の想定について
<ul style="list-style-type: none">・市の想定参加者数はおおむね妥当だが、啓発プログラムはハードルが高いかもしれない。・市の想定する実施頻度や期間は平均的な内容だと思う。・1対1の教室がメインなので、市の想定参加者数は多いと感じる。・予算規模が他市よりは小さいため、事業者がどのくらい集まるのか不安がある。事業者が少ないと、参加者も集まりづらくなると思う。・継続プログラムが自主事業化できるようにしたいと思っている。また、地域の教室事業を活用して事業を組むことで、事業終了後も継続できるような仕組みを考えている。
場所について
<ul style="list-style-type: none">・自社施設や交流館を想定。

<ul style="list-style-type: none"> ・持ち運びが可能な事業も展開予定であり、周辺地域でも実施可能と考えている。 ・周辺地域での事業実施は可能であるが、集客面での不安はある。
<p>広報・周知について</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・市の広報誌の活用を想定。また、対象者の子に当たる年齢層に届くような手法も模索中。 ・TVでの情報発信、新聞折込、ポスティング、リビング新聞への掲載などを考えている。
<p>事業期間について</p>
<p>事業の実施自体には問題ないが、介護予防効果という観点では、事業期間が長い方が効果的と思う。</p>
<p>事業の評価・事業費の支払いについて</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・固定費の割合は問題ない（総事業費ベースで事業を組むつもり）。 ・固定費が多いに越したことはないが、少額でもやりくりして何とかなる。 ・変動費の内容は問題なし。 ・支払い回数を増やして、少しでも早い時期から対価が得られるとありがたい。 ・継続参加者数にウェイトを置きすぎると、継続できることが主目的で健康効果は二次の事業構成となってしまうのではないか。
<p>デジタル技術の活用について</p>
<p>各社ともにあり</p>
<p>その他</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の訴求力を高めるため、個別事業のターゲット層をある程度絞ることを検討している。ただし、特定のターゲット層のみ手厚くならないように、全体的なバランスには配慮する。 ・事業の途中で中断・撤退したらどうなるのかを、明確にしておいてほしい。